

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>tajisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年4月3日(金) 第201号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

平成27年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例

内閣府に4個人、3団体を推薦

退職者連合では、内閣府からの要請を受けて「平成27年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例紹介」としてこのほど全国の会員の中から個人4人と3団体を活動事例として推薦しました。生きがいづくり、健康づくり、仲間づくり、社会貢献など“4つのお達者づくり”

に取り組む会員の方々のさまざまな活動は、退職者連合のホームページ「お達者だより」で随時、紹介しています。今回、推薦した方やグループもこの中でご紹介したものです。退職者連合では、今後も内閣府の取り組みに協力して、多くの会員の活動を推薦していきます。

ねらいは豊かな高齢社会づくり

内閣府のこの事業は、1995年9月8日の総務庁長官決定にもとづき、はじめたものです。ねらいは、高齢者がエイジレス・ライフを実践している事例及びグループ等で地域社会活動などの社会参加活動を積極的に行っている事例を広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の生活の参考にしていただく、というものです。

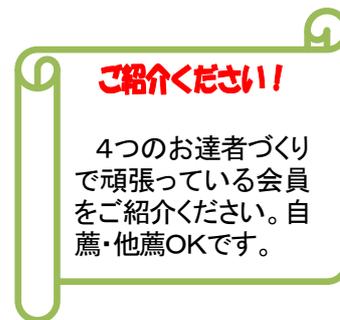
個人の事例では、①過去に培った知識や経験をいかしてそれを高齢期の生活で社会に還元し活躍している方②自らの時間を活用して近所付き合いや仲間うちなどでの支え合い活動に積極的に貢献している方③中高年から一念発起して物事を成し遂げた方④壮年期において達成した地位や体面などにとらわれないことなく高齢期を新しい価

値観で生き生きと生活している方⑤自らの努力や習練等により、優れた体力・気力等を維持し活躍している方⑥地域社会の中で、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮して生き生きと生活している方などを対象としています。

また、社会参加活動事例としては、支え合い活動(若者へのカウンセリングや子育て支援、高齢者の見守りなど)や趣味、健康、スポーツ、生産、就業(起業を含む)、教育、文化、生活環境改善、安全管理、福祉・保健、地域行事などに取り組んでいる団体やグループを対象にあげています。

地域で奮闘する会員のみなさん

今回推薦した方は、園児や子どもたちへの絵本の読み聞かせ活動を行っている萩森和子さん(愛媛高退



連)、ボランティアで秋田市内の観光案内に取り組む高橋義美さん(JR総連OB連絡会)、ジャズ音楽を通じて地域交流をすすめる青木精市さん(NTT 労組退職者の会)、蔵王でスキーボランティアに取り組む石塚良治さん(NTT 労組退職者の会)です。

団体では、石川県の里山を守る活動を行っている石川退連、福祉施設の手椅子清掃・整備などに取り組む水戸五八・五八会(茨城高退連合)、秋吉台山焼き延焼防止草刈ボランティアに連合山口と取り組む山口県高退連合の3団体です。

退職者連合

検索

お達者に過ごす方におすすめです。
 退職者連合のホームページ!

「核兵器廃絶を求める1000万署名」最終報告

退職者連合 52万4,910筆

現在、地球上には米・ロ・英・仏・中・印・パなどを中心に1万7000発を超える核兵器が保有され、人類最大の脅威となっています。

4月27日からニューヨークの国連本部で5年ごとに開催されるNPT(核兵器不拡散条約)再検討会議の開催に合わせて、核兵器廃絶に向けた被爆国日本の声を国連に届けようと、連合や原水禁、KAKKINの3団体が「核兵器廃絶を求める1000万署名」の取り組みを呼びかけました。2005年から始まったこの取り組みは、今回で3回目となります。

退職者連合も、3団体の要請に応じて「核兵器廃絶を求める1000万署名」を全国で取り組みました。その集約がこのほどまとまり、2015年4月1日現在で合計52万4,910筆となりましたので報告します。ただし、まだ署名簿が散発的に本部へ届いており、少し増える可能性があります。退職者連合としては、2月末締め切りでしたので、1カ月の猶予期間を設けた上で、今回を署名の最終集約としました。なお集められた署名は、国連本部に届けられます。

署名運動にご協力いただいた全国の会員のみなさまに感謝いたします。

核兵器はいらない

核兵器廃絶1000万署名
No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

「核兵器廃絶1000万署名」については、<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

「カジノ解禁推進法案」再提出の動きに反対声明

日弁連(日本弁護士連合会)や退職者連合などで行く「全国カジノ民間賭博場設置反対連絡協議会」(代表幹事・新里宏二弁護士、副代表幹事・菅井義夫退職者連合次長)は、昨年末の衆議院の解散で廃案となったカジノ解禁推進法案の再提出の動きが加速していることに対し、再度この法案に反対する声明を3月30日に発表しました。(声明文は、退職者連合のHPをご覧ください)

カジノ解禁推進法案は、昨年の臨時国会では早期成立との観測がある中、厚労省研究班の調査でギャンブル依存症を疑われる人が536万に及ぶことや各種世論調査でも反対が賛成の2倍となっていることなどから、審議に入れないまま廃案となったものです。

声明では、カジノ解禁推進法案の危険性について「日本での精神科医の報告では、ギャンブル依存症による生涯自殺企図は通常人の40倍にも上るとの報告もあり、カジノ解禁は依存症による自殺や犯罪の増加を招きかねない。そもそもギャンブルの事業者の利益はギャンブル利用者の負けの総体であり、財産の喪失、家族の崩壊、依存症患者の増大などをもたらす。人や社会の悲劇の上に経済成長を図ろうとする考え方自体、国のあり方として疑問であり、国は536万人にも上るギャンブル依存症の原因分析すら行っていない。カジノの解禁は依存症患者をさらに増加させることは必定であり、国は、まずは、ギャンブル依存症の対策を図る必要がある」と厳しく指摘し、断固反対の姿勢を再度明らかにしています。

第9回 連合・ILEC

幸せさがし文化展

どなたでも応募できます

絵画 | 写真 | 書道 | 俳句 | 川柳

募集(俳句・川柳) 2015年2月1日(日)~5月15日(金)

期間(絵画・写真・書道) 2015年4月1日(水)~5月15日(金)

◆賞 俳句・川柳 | 連合大賞・ILEC大賞 各5万円 ほか

絵画・写真 書道 | 連合大賞・ILEC大賞 各10万円 ほか

◆主催 連合、(公社)教育文化協会

◆お問い合わせ (公社)教育文化協会(略称:ILEC) TEL:03-5295-5421

詳しいことは [幸せさがし文化展](#)